

明るく元気の出る町

平成9年11月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997 11

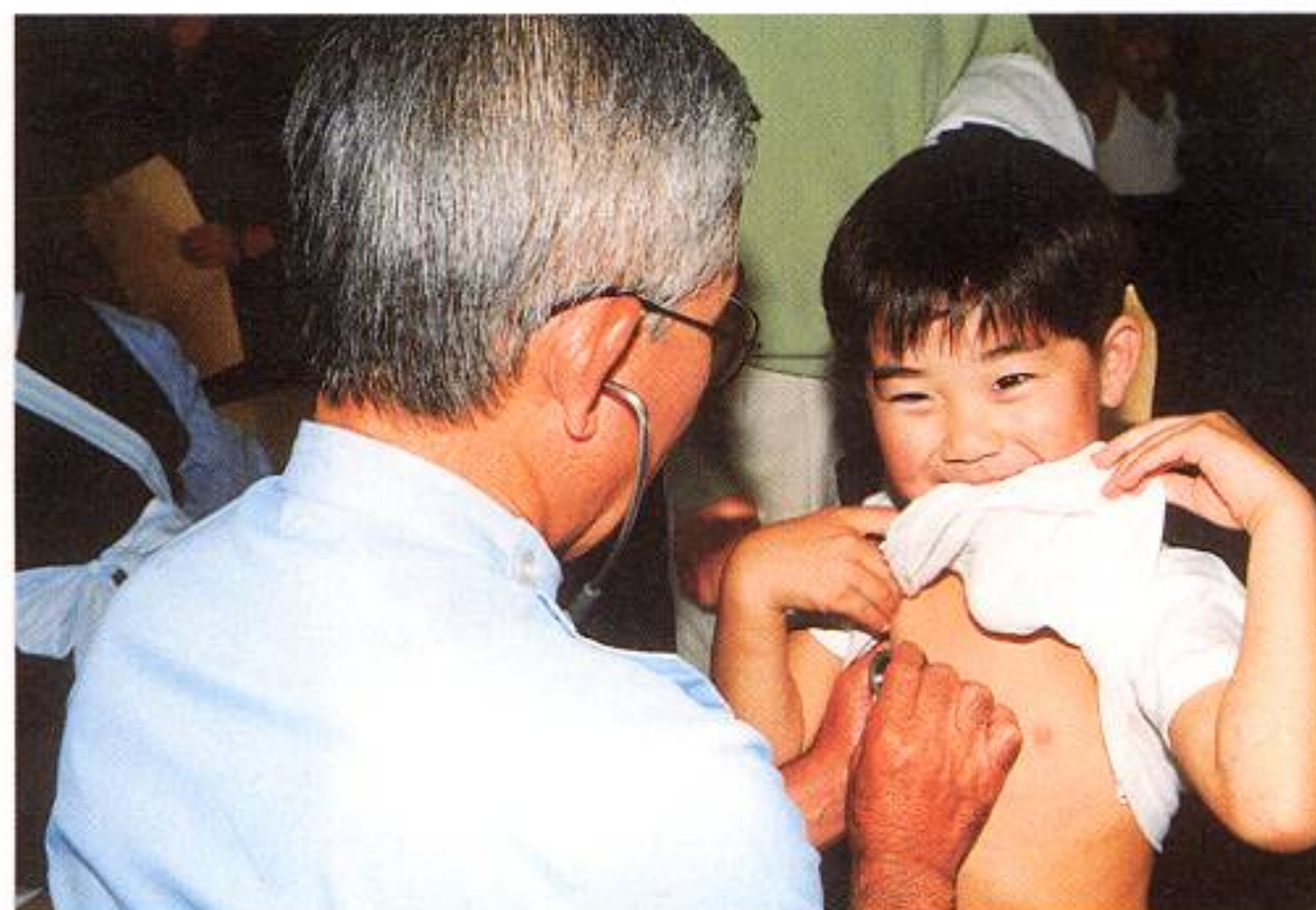
NO.512



歌声よ、小松四兄弟へ届け ～東由利音楽祭



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



もうすぐ、小学一年生 ～就学時健診

知っていますか？税のゆくえ

豊かな暮らしを支える税

わたしたちが豊かで安定した暮らしを営むためには、個人や民間組織だけではまかなうことのできない、公共の施設やサービスが不可欠です。

身近なところでは、道路、公園、学校、ごみ処理場など、いつも当たり前のように利用しているものもあれば、警察や消防のように、い

ざというとき社会の安全を守る役割をもつものもあります。

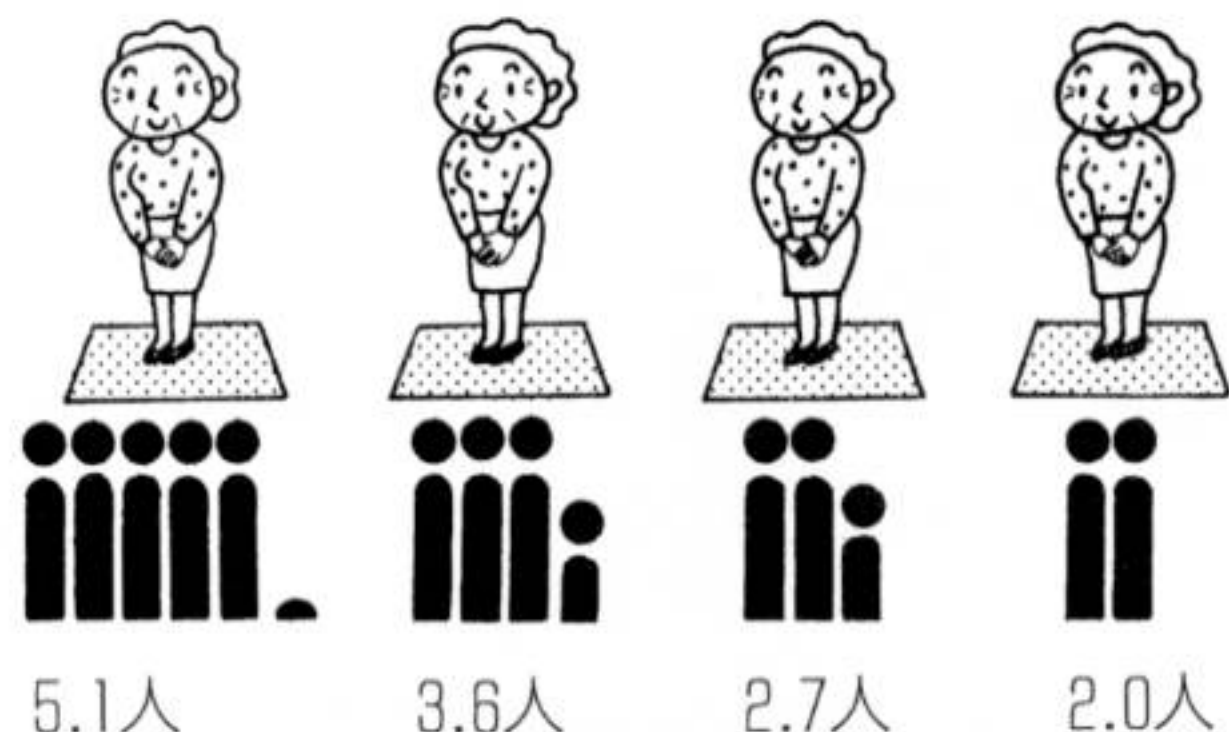
税金は、これらを運営する大切な財源です。納税者であるわたしたちは、義務として税金を納めるだけでなく、税金の仕組みや使いみちについても十分に知っておく必要があります。

国税庁では、毎年十一月十一日～十七日を「税を知る週間」と定め、多くの人に税金の意義や役割を理解していただく機会としています。

昭和二十二年に現在の申告納税制度が設けられて、今年で半世紀。少子・高齢化を迎えるなど、大きく変動するこれからのわが国と税のあり方を、改めて考えてみてはいかがでしょうか。

人生八十年という世界一の長寿を誇るわが国は、同時に、世界に前例のない超高齢社会を迎えつつあります。出生率の低下による少子化も加わって、社会を構成する世代のバランスが大きく崩れようとしているのです。

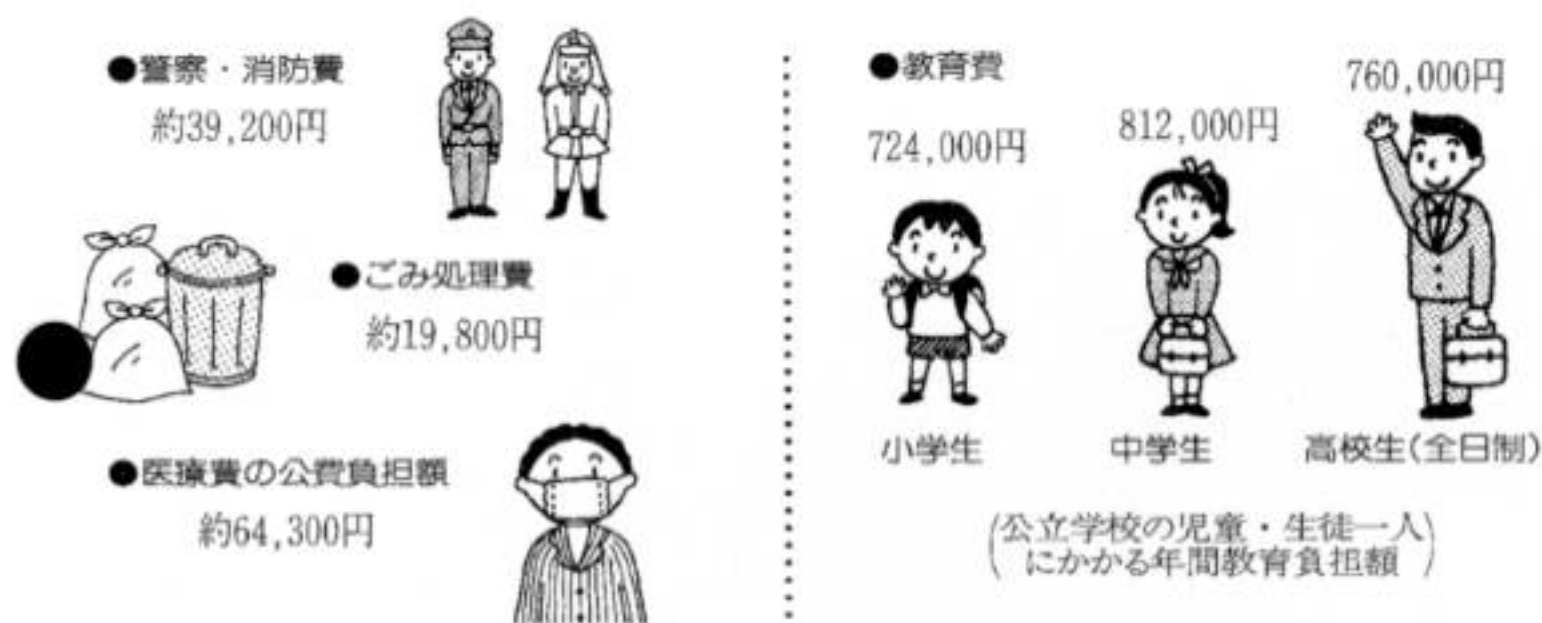
1990年 2000年 2010年 2020年



20～60歳人口の65歳以上に対する比率

税金の使いみち

～国民一人当たりにかかる主な年間費用をみると



▲平成6年度の国と地方公共団体の負担合計額より

将来の望ましい税制のあり方を審議している税制調査会は、「徹底した行財政の簡素化・効率化」の実現を前提とした上で、国民に次のように問いかけています。

「わたしたちは、高い公的サービスを求めている負担増を受け入れ『大きな政府』への道を進むべきなのでしょうか。それとも、公的サービスの低下をやむを得ないものとして負担の低い『小さな政府』への道を進むべきなのでしょうか」

将来の世代に負担を先送りすることのないよう議論を積み重ね、いずれかを「選択」することが、一人一人に求められています。

高齢社会とこれからの税

高齢人口が増え、若年・中年の勤労世代人口が減ることから、特に勤労世代への税や社会保険料の負担増は避けられない状況にあります。しかし一方で、過度の税負担が社会の活力を損なうことがないように、十分な配慮も必要です。

税を知る週間

11月11日
～17日

税の相談はお気軽に

タックスアンサー

税に関するお問い合わせは、コンピュータがお答えするタックスアンサー（税金電話相談サービス）をご利用ください。

年中無休で、利用時間は朝六時から夜十二時まで。電話でもファクスでもご利用になれます。

問い合わせに必要な「タックスアンサーコード表」は、税務署や市町村の窓口で用意されています。どうぞご利用ください。

仙台022-263-2299

第六回臨時議会

第六回町議会臨時会が十月二十一日に招集され、平成九年度東由利町一般会計補正予算案など二件を原案通り可決しました。

▼議案第一号・平成九年発生農業施設災害復旧事業の施行について

▼議案第二号・平成九年度東由利町一般会計補正予算(第六号)について
一千四百三十五万七千円の追加で、歳入歳出予算の総額は四十二億七千六百一十万一千円です。歳出補正の予算内訳は農業用施設災害復旧事業一千四百三十五万七千円です。

町長日記

商工青年部創立

三十周年を祝して

東由利町商工青年部が創立三十周年を迎えました。青年部では過去十周年ごとに記念事業を行っておりありますが、この三十周年も立派に節目を記念されました。

創立当時の人数からは比較すべくもない会員数で、記念誌を発行し式典を取り仕切り、ディナーショー形式の祝賀会を実行されました。



俳優 牟田梯三氏

1928年東京生まれ。
司会を務めるラジオ「あなたのための税金相談」は18年のロングラン番組。

まわりまわって、自分のところに帰ってくる

●税についてひとこと●
ラジオ番組で税金相談を担当させていただいた十八年目に入った。開始当初はまだまだ「税金は取られるもの」という世間の意識が強かった。
税のイメージを少しでも

やわらげることが先決で、そのためには、わたしが税に詳しい男であってはいけないと思った。あくまで、一人の納税者として同じ視点に立ってこそ、聞く人に近づけるはずだ。この姿勢、いまでも変わっていないつもりである。
そんなわたしの立場が一番危うくなったのが、消費税導入の時だった。税制見直しと呼ばれて久しかったが、現実のものとなるとなれば、反対の嵐は激しかった。わたしとしては、ある時は疑問を抱き、ある時は利点を語り、なかばコウモリ状態に陥ったことを思い出す。

しかし、いまにしてみれば、この時の消費税論議のおかげで、国民の税に対する関心と認識がどれだけ高められたか知れない。わたしも、税金は国家財政を支え、まわりまわって自分のところに帰ってくるものであるという思いを強くした。
税金は「取られるもの」ではなく、豊かな共同社会を維持するための、国民の会費とでもいうべきものだ。会員としての意識が高まれば、会費の使われ方が気になる。使われ方に関心をもつと、わたしたちの社会や経済の成り立ちが具体的に見えてくるはずである。

ご苦労に心から敬意を表したところであります。

かつて陸の孤島かといわれた我が町も今や周辺に四万都市が四つもあると形容できる状況になりました。国道一〇七号はじめ道路の整備率の向上と車社会の発展は確実にものの見方や価値観を一変させてしまいました。このことを悲観して見ていくのか積極的に捉えていくのか大変重要なことであります。

式典で「いつの時代も楽な時はありません。先輩達も大変困難な時代を切り開いて今日の東由利を築き挙げて来られた訳であります

皆さんも先輩に負けるものではないかもしれません。創立三十周年を契機に、新しい明日に向かって頑張り合って行こうではありませんか」と、祝辞を申し上げました。

「人づくりは地域づくりである」と題した由利地方部長中村徹氏の、大変示唆に富んだ講演もありました。

第二次世界大戦後の日本の復興の歩みを解説、現在のいろいろな意味で岐路に立つ日本の状況を話されて、いっぺん日本の原点を思い出してみようと提言されました。小学校唱歌の「ふるさと」にある「うさぎ追ひし彼の山 子鮎釣りしかの川」、春の歌、夏、秋、そして

冬の歌「雪やこんこん」とこれが日本の原点である……と。

これをテーマにした「まほろばの里」づくりを提言されながら、あのパンドラの箱にただ一つ残った希望にかけてみようではないかとの熱弁は、九十分の時間を感じさせない濃い中身でありました。

祝賀会のディナーショーもさすが商工青年部の企画でありました。ロシア民謡で高名の佐々木襄さんの歌声とトークに出席者の全員が酔わされてしまいました。

商工青年部の馬力に敬意を表しながら、ますますのご発展を心から祈念いたしました。



小特集：情報のある生活

各端末機器、町に導入中

町に集まる情報をどう生かすか



▲パソコンは身近な道具の一つ



いつでも読みたい本が手に入る

本を読みたいけれど、公民館の図書館に本がなくて・・・と本を読むことを断念していた方はいらっしゃいませんか。

このたび、県立図書館と公民館が電話回線をつなぎ、読みたい本が短時間で手に入るようになりました。この機会に本を借りてみませんか？

●県立図書館の本を借りるには●

- ①最初に公民館の職員に申し出てください。
- ②県立図書館の蔵書をパソコンで探します。「著者名から・出版社から・書名から・分野から調べる」ことができます。
- ③お探しの本が見つかり、県立図書館



▲図書館の有効利用に期待

で貸し出し可能のときは、三日ほど（最短時間）で本が東由利町公民館に届き、貸し出されます。（送料は無料です）

公民館図書検索システム

貸し出し中の本は返却次第届きます。
④本の返却は東由利町公民館に届けてください。

※ただし雑誌、AV資料、特殊文庫、参考図書など、一部の本は貸し出し禁止になっています。

●図書室の利用時間●

平日・午前九時～午後五時
土・日・祝祭日・午前九時～午後五時
（土・日・祝祭日…機械検索不可です）
なお詳細については、東由利町公民館か、県立図書館までお尋ね下さい。

東由利町公民館

69-2311

秋田県立図書館

0188-66-8400



▲AABの電波塔

AAB
(朝日放送)
東由利局
10月
15日より、
試験電波
発信

身近で手軽な情報収集はやはりテレビから、という町民の皆さんの声に応え、十月十五日、通称テレビ塔からAAB（朝日放送）の電波が発信されました。対象集落は高戸屋、山崎、野田など二十三集落、七百三十二戸です。チャンネルはUHFで34チャンネルです。この整備により、今まで朝日放送が良く見えなかった地区でも番組が見られることもあり、好評のようです。

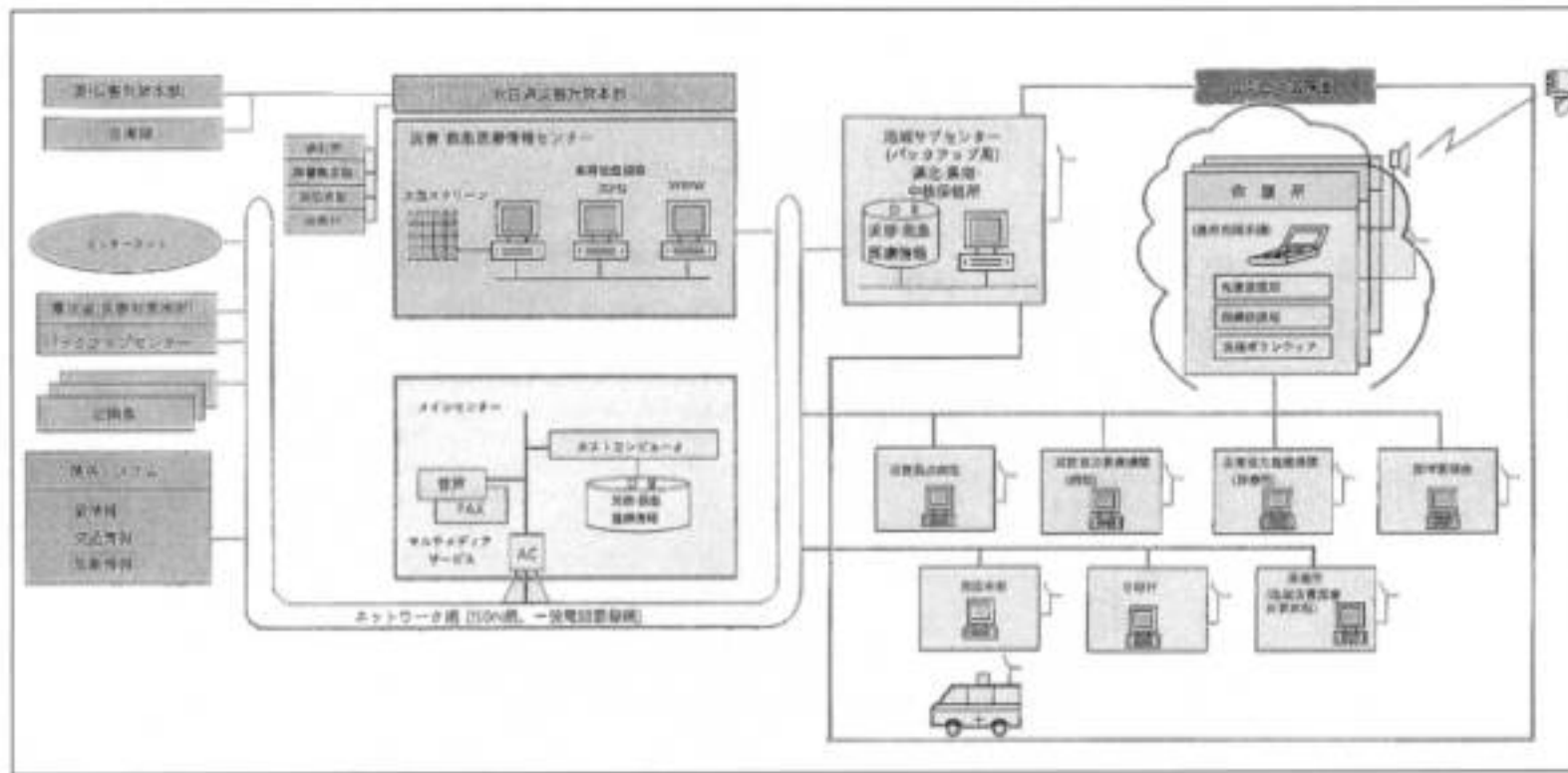
緊急災害に備えて

災害医療情報システム

阪神淡路大震災をはじめ、ここ数年、航空機事故や有毒ガス等による大規模災害により多数の死傷者が出ています。これら不測の事態に備えた医療救護の体制づくりが急務になっています。

こうした状況をふまえて、県では医療機関、医療関係団体、消防機関、保健所、市町村などの間で情報ネットワークを確立したうえで、災害医療の予備情報や対策情報を集積、提供する「災害医療情報システム」を整備しています。

秋田県災害医療情報システムイメージ



このシステムは平時には緊急医療の高度化への活用、医療相談への対応、緊急医療機関の紹介など住民への医療情報を積極的に提供します。

また、全国都道府県や国の機関などの「広域災害・緊急医療情報システム」に接続して、大規模災害時の全国的な支援・救済体制を確立します。

●主な取扱情報と機能●

▼平時時

①全県を対象に、緊急医療情報（空床状況、手術の可否など応需情報）の収集・管理・提供。

②医療相談への対応、緊急医療機関の紹介など住民への医療情報サービス。

③災害医療の予備情報及び対策情報を集積・提供。

④全国バックアップセンターへの平時情報の提供及び全国医療情報収集。

▼災害時

①災害発生と同時に「災害医療対策本部」として機能。

②医療救護班の派遣、備蓄医薬品の搬送などに関する指令情報。

③医療機関などの被災状況の把握、被災者に関する医療情報収集、提供。

④道路被災情報及び気象情報などの災害情報の収集、提供。

⑤全国バックアップセンターへの災害時の情報提供。

⑥国の機関及び隣接県への各種支援の要請。

保険料を納めるのは、自分のため、皆のため

国民年金口座振替

保険料の納め忘れが長い間続くと、老齢基礎年金が減額になったり、受けられなくなることもあります。また、みなさんが納めた保険料は、基礎年金の給付に必要な財源となり、国民年金をささえています。そのためにも便利な口座振替を。

●こんな利点●

一、あなたの指定された預金口座から、自動的に払い込まれるので、納め忘れがありません。

二、納期のたびに金融機関へ行く必要がないので、手間が省けます。特に仕事の忙しい方、不在がちの方などに便利です。

三、一度手続きをすると、翌年度からの分も自動的に納付され、毎年継続します。

●申し込み手続きは

一、あなたの預金口座のある金融機関



▲申し込み手続きの流れ

11月6日～12日は年金週間です

で取り扱いいます。

二、申し込みのとき必要なものは預金通帳と通帳届出印、保険料の納付書です。

三、以上のものを持って「口座振替依頼書」（金融機関にあります）に必要な事項を記入して申し込みます。

●保険料の額

保険料は、性別、所得、地域などに関係なく一律です。

●保険料の前納

一年分、または一定期間分の保険料をまとめて前納すると、納期ごとに納める手間が省けるうえ、割引きされます。詳しくは国民年金担当窓口までお問い合わせください。

来年二月から郵便番号が

七ケタに変わります

平成十年二月から、新しく開発した区分機で、七桁の郵便番号とあて名を読み取り、住所全体を表わすバーコードを郵便物に印字、このバーコードを読み取ることによって、郵便物を配達順に並べるところまで機械化します。このため、郵便番号やあて名を正しく記載しないと、区分機で処理することができず、人手を介することとなり、配達が遅くなる場合もあります。詳細は郵便局までお問い合わせ下さい。

東由利町の 新郵便番号

●以下に掲載がない場合

●老方	015-0211
●蔵	015-0202
●黒淵	015-0231
●宿	015-0241
●杉森	015-0242
●田代	015-0232
●館合	015-0221
●法内	015-0201



▲中学生3年生の歌「大地讃頌」

歌声よ、小松四兄弟へ届け

第五回 東由利音楽祭

町を代表する音楽家小松耕輔、三樹三、平五郎、清、四兄弟の業績をしのぼうと、毎年行われている「東由利音楽祭」。

今年、五回を数える音楽祭が十月二十六日、東由利中学校体育館で行われました。当日は、町内小中学生をはじめ、本町「コール黄桜」「コールゆらり」

を含め、六市町のコーラスサークルなど約八百五十名が参加しました。

あいにくの雨模様でしたが、どの参加グループも、小松四兄弟へ届けとばかりに自慢の歌の数々を披露しました。

最後に「東由利町賛歌」を出演者全員で合唱、郷土が生んだ偉大な音楽家の業績をたたえていました。

郷土が生んだ音楽家を称えあう

当日のプログラムは次のとおり

■オープニング■

●東由利中学校吹奏楽部

指揮：長谷山香苗

「長野オリンピックメッセージソング

「ドリーム」

「吹奏楽のための『聖歌と祭り』」

■第一部■

●大琴小学校一、六年生

指揮：菅原美保 伴奏：石川さとみ

「こけこっこ大晦日」「だれにだってお

たんじょうび」

●高瀬小学校五、六年生

指揮：長谷山未果 伴奏：東海林由美子

「たんぽぽ」「宝島」

●八塩小学校一、四年生

指揮：柳田志津子 伴奏：大庭珠枝

「四匹のお馬」「手のひらを太陽に」

●東由利中学校三年生

カンタータ「土の歌」より「大地讃頌」

●東由利中学校二年選択音楽

「秋田のこもりうた」と「ばあやのお里」

によるクオドリベ

■第二部■

●コール黄桜（東由利町）

指揮：石川さとみ 伴奏：今野博雄

「忘れな草」「時なし草」「お菓子の

汽車」

●岩谷シルバーコーラス（大内町）

指揮：工藤みさ 伴奏：田口正子

「風」「雨降りお月」

●フラワーコーラス（本荘市）

指揮：豊島重孝 伴奏：土門美紀

「おぼろ月夜」「泊り舟」

●ゆりの音コーラス（由利町）

指揮：小島輝夫 伴奏：金子忍

「晩秋」「サモア島の歌」

●グリーンコーラス（鳥海町）

指揮：板矢聡子 伴奏：田口正子

「お山の細道」「美しく青きドナウ」

●やまびこコーラス（西目町）

指揮：豊島重孝 伴奏：伊藤寿美子

「芭蕉」「川の流れの

ように」

●コールゆらり（東

由利町）

指揮：長谷山香苗

「玉米中学校校歌」

「夢みたものは」

●全員合唱

黄桜のコーラス

指揮：小島輝夫

伴奏：土門美紀

「風」



▲コーラスのコーラス
黄桜のコーラス
指揮：小島輝夫
伴奏：土門美紀
「風」
「東由利町賛歌」

郷土の歴史を学ぶ講演会

十月二十三日、有鄰館において秋田県立博物館長、秋田大学名誉教授である、新野直吉氏を講師にむかえ、郷土の歴史を学ぶ講演会が開かれました。「由利十二頭の時代」と題した身近な歴史講演に、参加者はしきりにメモを取っていました。



▲新野氏による講演会の模様



▲振りつきで歌った大琴小学校

快晴の空の下、競技楽しむ

町民スポーツ祭
(グラウンドゴルフ・ペタンク)



▲有鄰館裏ではグラウンドゴルフを楽しんだ

今年、三回目の町スポーツ祭。十月十九日に、有鄰館裏庭ではグラウンドゴルフ、町民運動場ではペタンクがおこなわれました。

当日は各自治会代表選手ら百余名が参加、各競技を楽しみました。快晴の空の下、どの選手もハッスル。

その結果グラウンドゴルフでは新町自治会が団体優勝、ペタンクでは田代自治会が優勝を飾りました。

次回、今年度最終の町スポーツ祭は「綱引き」です。各自治会の最後の奮闘が期待されます。

ミニ知識

●グラウンドゴルフ●

増大する余暇時間を健全に過ごせるようにと、文部省が鳥取県泊村に開発を委嘱し、一九八三年に誕生したのがグラウンドゴルフです。

●ペタンク●

このスポーツは一九〇〇年代の初め頃、フランスのマルセイユで始められるようになりました。その名称は「両足をそろえて」と言う意味の「ピエ・タンケ」を語源としています。

ピーター・メイルの著書「南仏プロヴァンスの十二月」で作者は七月の章にこのお気に入りのゲームについてかなり詳しく書いています。



▲町民運動場ではペタンクを楽しんだ

生き生きと 自ら学ぶ力を 育てるために

学校指導公開研究会
高瀬小学校

「豊かな学習活動を通して生き生きと自ら学ぶ力を育てよう」と題して、九月二十六日「平成九年度学習指導公開研究会」が高瀬小学校で行われました。これは毎年、町内の学校が持ち回りでやっている公開授業です。

各学年毎の公開授業では、先生方の指導のもと、どの学年の児童も生き生きと発言していました。今後なお一層の学習活動が期待されます。



三年・社会「町の買い物ガイドセンターを作ろう」



四年・理科「ふるさと高瀬川を見つめよう」



一年・国語「ありがとう、おじいさんおばあさん」

二年・国語

「みんな先生」



五年・環境教育「環境問題、私たちにできること」



六年・社会「西洋に追いつき、追いこせ」

福祉医療制度のご案内

★福祉医療制度とは

この制度は、乳幼児、母子家庭や父子家庭の児童、重度の心身障害者、身体の不自由な高齢者に対して医療費の自己負担分を助成し、心身の健康の保持と生活の安定に役立てていただくために設けられた制度です。

申請により「福祉医療受給者証」を交付しますので、これを健康保険証と一緒に医療機関（秋田県内のみ）に提示すれば、医療機関では診療の自己負担分を町に請求し、町が医療機関に支払いますので、自己負担分を支払わないで受診できます。

★対象になる方

○乳幼児

・四歳未満児（生まれた日～四歳の誕生日の属する月の末日まで）
／所得制限・有

○重度心身障害（児）者

・身体障害者手帳一～三級または療育手帳Aを持っている方
／所得制限・無。ただし社会保険の本人のみ所得制限・有

○高齢身体障害者

・六五歳以上で身体障害者手帳四～六級を持っている方／所得制限・有

○母子家庭・父子家庭の児童

○父または母が身障手帳の一～二級に相当する疾病状態にある家庭の児童。
・満十八歳の誕生日以降の最初の三月末まで（高校を卒業するまで）／所得制限・有

★対象にならない方

一、生活保護の適用を受けている方
二、公費負担医療の適用を受け、医療費の自己負担のない方

★手続きに必要なもの

一、健康保険証
二、印鑑
三、身体障害者手帳・療育手帳・老人医療受給者証（所持者のみ）
四、本人及び扶養義務者の所得証明書（転入された方のみ）

■問い合わせ

せは役場福祉課・福祉係まで（69-2118）



突然の災害に注意

火が出た！

その時なすべき3つのこと

●早く知らせる

家族がいる場合は、だれかが必ずすばやく一～九番に通報するとし、だれもいないときは、機敏に消火行動を起こす一方、近所に思いきって大声で「火事だ」と知らせ、一～九番への通報と消火の応援を求めます。通報は落ち着いて、しっかりと伝えてください。また、けつして火を一人でこつそり消そうとしないことです。

●早く消す

消火器や水で、初期消火に全力行動。火が天井にまわるまでの間の数分間の消火活動が「初期消火」といいます。

●早く逃げる

煙に巻かれると有毒ガスで呼吸障害や中枢神経障害を起こし、たちまち昏倒して死にいたります。消火活動の一方で煙の状態に気をつけ

秋

の火災予防運動 11月2日（日）～11月8日（土）

福祉の充実には社協から

▼県知事表彰及び県社会福祉協議会会長表彰

▼社会福祉協議会役員任期改選

十月十四日に県民会館で開催された平成九年度秋田県社会福祉大会において、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方に、県知事表彰および県社会福祉協議会会長表彰が贈呈されました。受賞者は次のとおり。
知事表彰（民生児童委員功労）
・佐藤守氏（祝沢）
県社会福祉協議会会長表彰
（社会福祉事業功労）
・遠藤兵一氏（蔵立会理事）
・遠藤繁氏（玉米福祉会理事長）
・佐藤陽子氏（町社会福祉協議会ホームヘルパー）
また、社会福祉協議会役員の



知事表彰を受けた佐藤守氏



新会長の畑山昭一氏



前会長の梅津嘉一郎氏

地方公共団体税務職員表彰

十月十三日、東京都のホテル東京において、地方公共団体の税務職員として多年にわたり職務に精励、その成績が他の模範と認められるとして、本町阿部力税務課長が自治省税務局長より表彰を受けました。
町村の部では全国より選ばれた三十三名が表彰されました。

災害の未然防止のために

八塩地区県営溜池等整備事業



▲トンネルが開通

十一年までにこの事業を完成させる予定です。

本溜池は、昭和二十六年に工事に着工、同三十八年に完成したもので、築造後、三十余年の歳月がたっています。

そのため、堤体こそ安定していますが、波除ブロックや底樋工、洪水吐施設などの老朽化が激しく、溜池決壊の原因になり、下流部に甚大な被害を与えるこ

となどが予想されていました。この事業は改修および補修工事を行うことにより、農用地、農業用施設災害の自然発生を未然に防止することを目的にしたものです。今後とも関係者にはご迷惑をおかけいたしますが、国土保全と災害の防止を目的としたこの事業をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

災害の未然防止と農業用水の確保に万全を期すべく、平成七年度から県営で進めている八塩ダム大規模老朽溜池整備。この度、取水施設の一部である底樋（トンネル工）が開通しました。この後、トンネルの巻き立て工、操作部屋などを作り、平成



▲斜樋工

勇気と行動力の30年

東由利町商工会青年部 創立30周年記念式典

昭和42年発足した東由利町商工会青年部（鈴木和雄会長）。今年創立30周年を迎えるということで、10月22日に有鄰館において記念式典が行われました。第一部の式典では、大沼武且商工会会長から「この三十年、青年部は勇気と行動力で道を切り開いてきた。この式を契機に二十一世紀に向けた、活力あふれた地域づくりをめざしてほしい」と式辞があり、鈴木和雄青年部長から五代以降の歴代青年部役員に感謝状と記念品が贈られました。

第二部記念講演では「元気の出る町づくり」の演題で県由利地方部長中村徹氏による講演が、その後の第三部では、歌手の佐々木襄氏によるディナーショーが行われ、盛大に商工会青年部の30周年を祝いました。

なお、当日は次の方々に感謝状が贈呈されました。

- 第5代青年部長 佐藤知泰氏
- 第6代青年部長 小松佳和氏
- 第7代青年部長 伊東一夫氏
- 第8代青年部長 長沼久利氏
- 第9代青年部長 小番正裕氏
- 元青年部副部長 佐藤力弥氏



▲盛大に行われた記念式典

十月家畜市場

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
雌	10	276kg	316,890	1,086
去勢	24	302kg	393,794	1,242
合計	34	295kg	371,175	1,196

●最高価格雌 539,700 高栄 糸光 賢晴
●最高価格去勢 455,700 北国7の8 福谷1 益美

木材共販市況

径級	単価/石	備考
直材30cm上	5,900~6,800円	65年生以上含む
同24~28cm	5,700~5,800円	50年生以上含む
同14~22cm	5,500~5,700円	50年生以上含む
同13cm下	3,000~3,200円	
曲り材	2,200~3,000円	

（平成九年十月・平均価格）
四五年生、五五年生
製品市況の悪化で全体的に慎重な対応。価格、量、共に下落。

林業だより

スギノアカネトラ
カミキリ

先般開かれた林業講演会で、スギ林にスギノアカネトラカミキリの被害が増えてきたことが話題になりました。町内のスギ林の実態はどうなっているか調べる必要があります。

この害虫は、二年から三年で一世代を終えます。加害木の枯枝内で越冬した成虫は、四月頃脱出孔から脱出して枯枝の割れ目に産卵します。

幼虫は枯枝の樹皮下から樹幹の材部にもぐり食害して、樹幹材の中で一年目の冬を越し、老熟幼虫となって八月末頃から枯

枝の中で蛹となり、十月には成虫となって翌春に暖かくなつてから脱出します。被害は幼虫の食害によって、材部変色または材部腐朽がおこり、材価を著しく下げます。本町ではガニクサレと呼んでいます。

この被害は、枯枝を落としてみて幼虫の食害孔があるかで確認します。防除の方法は、立木の枝打ちや枯枝落とし、間伐などの保育管理を実行することです。

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）

ゆかいな影絵劇団が来町

秋田県青少年劇場



▲しばし時を忘れた幻想的な影絵

十月九日、健康増進センターにおいて、子供たちにこころの栄養をと、秋田県青少年劇場が行われました。当日は町内三小学校の児童が楽しみました。毎年行われているこの劇場、今年は劇団角笛による影絵が上演されました。

「花さき山」「ぞうの鼻が長い理由」など軽快な調子の影絵が上演される度に、低学年の児童からは歓声が沸き起こっていました。また、唄に合わせて合唱するなど、影絵劇を十分楽しんでいました。

高瀬小、勝利をかみしめる

高瀬小A、郡卓球で三位



▲3位入賞を喜びあう児童たちと先生

十月十二日、本荘市民体育館で郡市卓球交流会が行われました。当日は高瀬卓球スポーツ少年団の四チームを含め、三十七チームが参加、団体戦を繰り広げました。予選リーグでは、高瀬Aチームが子吉B、西目Cの中から一位で決勝へ進みました。一回戦では西目Aに三対一で、二回戦では大琴に三対〇で勝ち進みました。その後準決勝で鶴舞Aに三対〇で破れたものの、堂々三位に輝きました。試合後、児童たちは勝利の喜びをかみしめていました。

皆が協力し建てた、神社

高森に新しい神社

土場沢地区のみなさんに親しまれている高森。またこの場所には町地籍の基本点でもある三等三角点が設置され、町にとっても重要な場所です。

この度、土場沢地区有志一同によつて高森に新しい神社が建て替えられました。この神社は波宇志別神社といい、今まで二度建て替えられたといいます。

今回、同地区有志が山道を何度も往復して資材を運び、つくったとのこと。苦勞の末出来た神社にどの顔も満足そうでした。



▲新しい神社の前で記念写真撮影

八塩に育て、あじさいの花

町連合婦人会らの八塩植栽



▲宝くじ助成により行われた緑化推進事業

交流の場として大きな役割を果たしているいこいの森。春は桜、秋は紅葉と楽しませてくれます。

十月十八日、春から秋まで楽しめるようにと夏の花であるあじさいを町連合婦人会が中心となり植栽しました。当日は同会が町の各団体に呼びかけ参加をつつた結果、多数の方が緑化推進のために参加しました。開会式ではあいにくの雨で日程が危ぶまれましたが、植付作業開始と同時に雨も止み、無事、作業を終えました。二年後の夏、八塩ダム周辺は色鮮やかな花に囲まれることでしょう。

町のあっち、こっちから

日頃の文化活動の成果発表

東中・東光苑文化祭



▲東由利中学校3年生有志による劇「貧乏神の宿賃」

連日の劇練習、舞台装置製作、裏方の努力などによって、素晴らしい劇が作り上げられました。生徒、教師、父兄ら関係者、皆が精一杯頑張った文化祭でした。十月十九日には東光苑で第十二回文化祭が行われました。絵や習字、小物入れなど入居者が日頃少しずつ作った作品が展示されたコーナーでは、訪れた人が足をとめ、作品を見ていました。また、もちつきや、コールゆらり、先日二十五周年を迎えた民謡同好会による歌の発表などもあり、入居者一同楽しみました。

十月十八日に、東由利中学校文化祭が行われました。今年の東中祭のテーマは「黎明」。全校生徒が毎日準備に取り組んできた祭だけに、熱気にあふれていました。展示部門ではそれぞれの持ち味をいかした学年の部屋、中学生などの問題意識を書いた学級単位の壁新聞、先生の特徴をとらえた似顔絵コーナーなどがあり、訪れた人を楽しませました。



▲東光苑でのコールゆらりによる歌

励まし合いながら親睦図る

東京老方会十五周年

十月十九日に、東京池袋において東京老方会が行われました。今年十五周年を迎えた老方会。この会は東京圏に住む老方地区出身者が中心となっています。会では同郷者の親睦を図りつつ、共に励まし合うことを目的に、毎年親睦会を開いています。この日、五十名を超える懐かしい顔触れの中、近況報告などを中心に話しは尽きず、大変盛り上がりしました。



▲獅子舞も飛び出した東京老方会

祖父母の技に目を輝かせる

八塩小学校祖父母参観

十月十八日、八塩小学校において、祖父母参観が行われました。これは、児童と祖父母との交流を深めるために行ったもの。当日は児童を始め、祖父母、父母の皆さんが集いあいました。

祖父母の皆さんは、児童の日頃の成果を発表した「実りの集会」、なわなないなど昔の遊びを体験する「ふれあい活動」、もちつきと会食の「収穫感謝もちつき大会」などの盛りだくさんの内容を、孫である児童たちと共に楽しみました。また児童たちも祖父母皆さんの技に目を輝かせていました。



▲祖父母と楽しんだふれあい活動

東由利文化クラブ

虫歯のなかった児童

大琴小学校

虫歯

なんてない
も〜ん。



2年生
阿部武雅くん



2年生
佐々木駿人くん



3年生
畠山亜由美さん

訂正とお詫び
広報10月号虫歯
のなかった生徒欄で
小松和紀くん、小野
和成くんの写真が入
れ違っていました。
訂正してお詫びい
たします。

81歳で26本の歯が



八十歳まで二十本以
上の健康の歯で、こ
のたび小倉の遠藤莊二
郎さんに県知事から
8020の認定証が渡
されました。これは日
頃歯と歯ぐきの健康管
理に努めたことが認め
られたものです。
遠藤さんは八十一歳
喜びの遠藤さん

虫歯のないおじいちゃん

二十六年の健康な自分の歯を持
っています。今回「私の歯」と題
し、寄稿いただいています。
「若い頃、物がなかった時代、
小魚など頭、小骨ともよく食べた。
歯磨きには塩を使うことが多かつ
た。今では塩の入った歯磨き粉を
使っている。中年になってからは
乳牛を飼っていたから、牛乳をた
くさん飲んだ。また食事は歯によ
いものをと家族が気を使って
作ってくれる。また歯が痛い
時には、早めに歯科医の診察
と治療を受ける」
ここに八十一歳で二十六本
の秘密がありそうです。これ
からも良い歯でお元気で。

東由利の文芸

彩りを四方にこぼす乱れ萩
燈下親し傷跡古りし文机
コスモスの庭に立ち寄る杖の人
深秋の命を縫いし糸を抜く
樹海抜けて紺碧の十和田秋深む
月あけて霜の予感の山家かな
ポップ引く蔓の向こうに町灯り
山下りて栗も化粧で道の駅
踏み入れればけもの道なり藪からし

五海保 嶽石 レイ
蔵新田 小笠原亮子
山崎 小松 良子
久保 高橋 典三
上里 小野石路子
船木 大庭景石 門
下通 小松 忠正
湯出野 佐藤 正義
秋田市 嵯峨 義之

せせらぎ句会

秋晴れや群なして鳩空に舞う
山畑を帰る背中にこぼれ萩
十六夜や燈を点さずに入る湯舟
ぼんのくぼ野分に晒す薬師かな
新米を焼印深き枳に盛り
木の実降る草にかくれてくれんば
稲光大樹にひそむ鳥の息
辰子像さざ波蒼き秋の湖
園児らのリュックとりどり秋桜
母ひとり秋果参らす水子仏
無花果の熟れし二三顆貰い椀ぐ
岬田のつづれ稲刈る海女の余暇
枝豆の湯気の立つまま供へけり

時雨山 吉川 葉子
湯出野 菊地 常作
中通 小松順之助
家ノ下 小松 正昭
蔵新田 小野 貞子
横渡 阿部 澄子
小倉 遠藤トミ子
蔵新田 小笠原トミ
舟打場 高橋民治郎
横小路 宮野源二郎
下小路 小松メサコ
下小屋 小松 敏雄

虫歯のない中学生（敬称略）

一年生
石橋慎太郎 小松慧太 佐藤浩司
畠山満洋 遠藤菜々子 莊野達也
長谷山智 小野絵李果 渡辺智幸
小野香織 小野みゆき
二年生
鈴木麻衣子 小野大輔 佐藤真二
佐藤泰之 小松真己 小松幸代
長谷山諒一 工藤美保子
三年生
遠藤吉保 小野裕司 須田彰子
阿部秀人 遠藤晃人 工藤勇輝
鈴木祐介 小野俊輔 佐藤勇樹
佐藤 力 高橋定征



アイドルを さがせ!



福田 貴斗くん（1歳）
お父さん：清一さん
お母さん：栄子さん

【下通】

人見知りしないのがかわいがら
れる秘訣だと分かるのでし
か。人見知りしないでだれにでも
愛想がいいようです。
性格は少し短気でしょうか。自
分の意志をはっきり表わします。
きつと兄がいるからでしょうね。
食べ物の好き嫌いは特にな
い。食欲はお兄ちゃんよりある
ようです。動物が好きなので、
近所の池の鯉と遊んでいます。
驚いたことは、這い始めた頃、
目を離したすきに階段を昇って二
階にいつてしまったこと、一年間
に三回も髪を切ったことです。
まだ小さいので将来のことは考
えていませんが、病気に負けず元
気に育って欲しいです。

お話し…栄子さん

童話を

あなたに

かばくんは消防士になりたいと思った。でも、はしごを壊してしまいなれなかった。次は船乗り。でもボートが壊れて沈んでしまった。次に思いついたのがパイロット。でも飛べなかった。次々と夢を追いかける、かばくん。しかしどれもこれもことごとく



ぼちぼちいこか／
マイク＝セイラー

く打ち砕かれていくのです。さすがのかばくんも疲れてしまい、ちよつと一息と、ハンモックに横に。その瞬間木がしなつて地面についてしまった。・・。そんな時でも「ま、ぼちぼちいこか」とくよくよせず前向きです。

やさしい色使いでかばくんの奮闘がいきいきと描かれ、文章が大阪弁でリズムカル。少しのことではくじけないかばくんの姿がなおいつそう微笑ましく思えます。毎日忙しさに追われるように過ごしていたところに、かばくんにボンと肩を叩かれた気がしました。「ま、ぼちぼちいこか」てね。

●本紹介・小野邦子さん

お手紙ありがとう

先日日本町に訪れた、尾崎小学校五年生の皆さんからお手紙をいただきました。代表して紹介します。尾崎小五年・熊谷実くん「ぼくは東由利が住みやすいと思います。どうしてかという自然がたくさんあるからです。これからもいろんな年の人でも楽しめる町を作れるようにのっています」

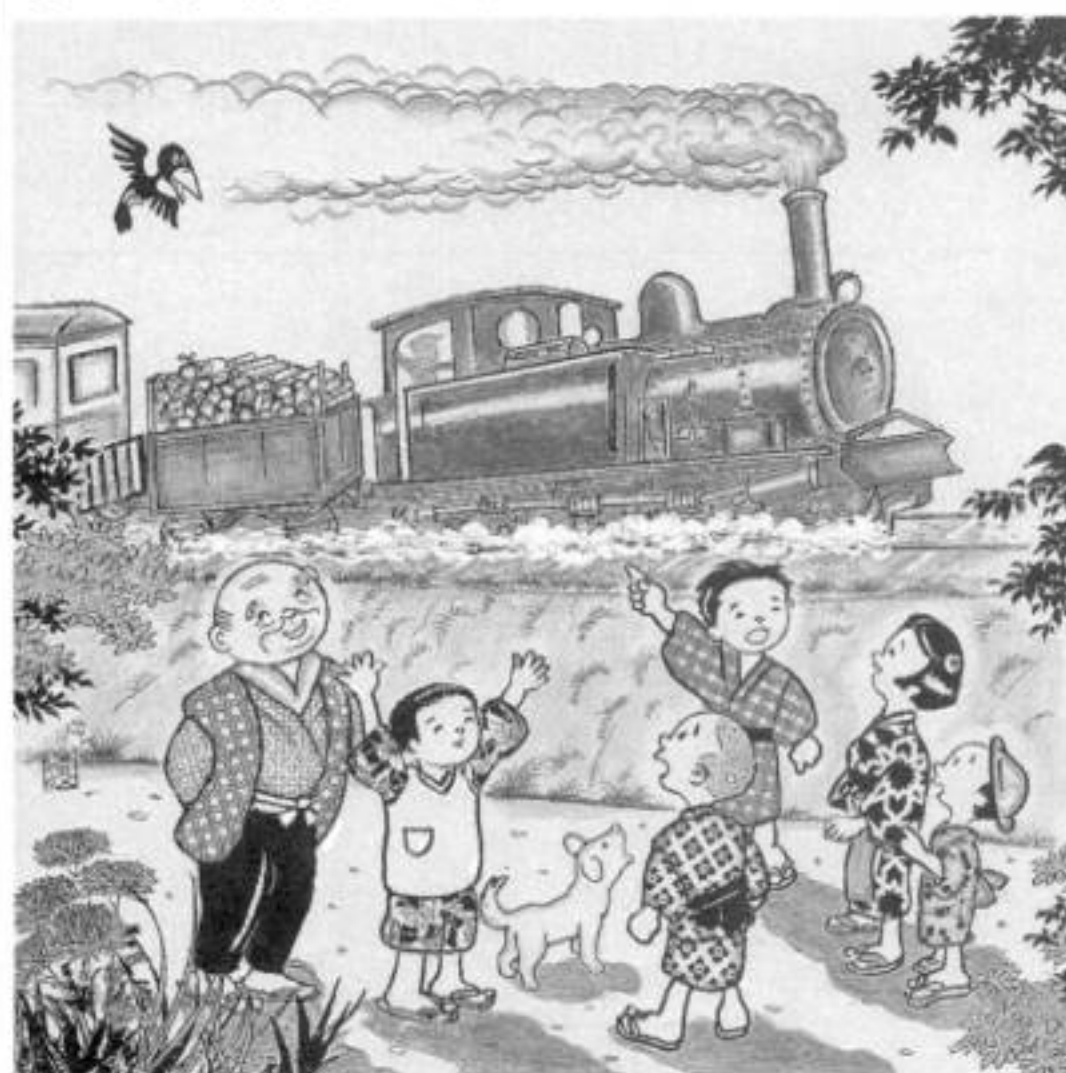
たのでしよう。

明治の頃からの「みちのく横断鉄道」の夢は、大正初期に入り、釜石、黒沢尻、横手と着実な伸展を見せ、いよいよ横手から本荘を結ぶ手始めとして、大森と老方間の路線工事に取りかかることになりました。

山裾を縫うような難工事は、トンネルだけでも五箇所、それに固い岩盤の掘り割りなど、血の滲むような工事でしたが、昭和二年十一月十日の起工以来、三年の年月と一、五九五、〇〇〇円の総工事費で竣工しました。

ときに、昭和五年九月二十七日のことでした。

秋色濃い十月五日、老方小学校を会場に関係者五百名列席のもと、盛大に開通式が挙行されました。新聞各社の見出しも大きく、平鹿・由利を結ぶ重要線。老方村は空前の大雑路、と当時の賑わいが浮



(文と絵・石渡力造氏)

またこんな手紙も届きました。十文字町・佐々木優子さん「温泉に仕事でつかれた時にいってます。皆さんの親切がとてもうれしいです。頑張ってください」秋田市岡本侑子さん「秋田に来て四十二年、いつになっても育った思い出は忘れないものです。表紙の光子姉を見てほっとしています。私たちは秋田広報の表紙に出ることはないでしょうね」

かびます。老方駅は、経済面ばかりでなく、産業や文化の発展にも大きな役割を果たしたのです。

通学おくれで泣き顔の子供に汽車を停め、手を差し伸べて、そつと乗せてくれた人情機関士のことや、歓呼の声高く見送った出征兵士のこと。

泣き笑いの「横庄ッコ」のつきないエピソードは、昭和二十二年まで続きました。

修学旅行の思い出

下郷分校 二年

阿部 忍くん



震災の話聞いたことだった。神戸市教育委員会の先生方が、地震の規模や被害状況、その時学校はどうだったか、震災から学んだ事といった内容で話をされた。現在の神戸の街は、ここがあの震災のあった場所か、と目を疑うほど復興が遂げられている。しかし、現地で、しかも実際に体験された方々から話を聞くのは、テレビの映像などとおして見聞きした以上に心に響いてくるものがあった。

「自然の中で、人間は生かされているということ、あらためて強く感じた」

「本当のボランティアとは、今、何が必要なのか、今、何をやるべきなのかを自分で見つけ、そして行動することだ」といった言葉が今も心に残っている。



九月二十三日から二十七日まで、神戸・大阪・奈良・京都といったコースで修学旅行に行った。電車での移動に二日間費やされたので多少疲れたが、終わってみるとまた行きたいと思うほど楽しく有意義なものだった。中でも印象深かったのは、神戸で兵庫県南部地震(阪神・淡路大

11月▶データ東由利

〈9/1〜/30〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男……………2,597人 (△2)
■女……………2,744人 (0)
■計……………5,341人 (△2)
■世帯数………1,398戸 (0)

() は1月からの累計

・出生3人 (29) ・死亡4人 (45)
・転入3人 (70) ・転出4人 (88)

■火災出動……………0件 (2)
■救急出動……………9件 (89)
■交通事故……………1件 (12)
・死亡……………0人 (0)
・傷者……………1人 (14)
■飲酒運転……………0人 (0)
■酒気帯び……………0人 (3)

11月の行事予定

- 1〜2 第11回産業文化祭
(有隣館他)
1 農業者大会
2 大火防止訓練
2〜8 秋の火災予防運動週間
3 文化の日
7 合同竣工式
8 少年少女サークル
20 童話秋田県コンクール
作品締切
23 勤労感謝の日
23〜29 町民海外研修



ほっとひといき

東中の文化祭で演劇「貧乏神の宿賃」を見ました。三年有志による劇で、限られた製作期間で、よくまとめられていました。出演者の皆さん、そして照明係をはじめとする裏方の皆さん、ご苦労さま。(そう言えば私も中二の時に劇に参加した覚えが) ちなみにインターネットで検索してみると金沢の学校でもこの劇をやっている、大変好評だったとのことですね。さて三年はもうすぐ卒業。進路は違えど、この体験が各々の良い思い出になればと思います。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.153

文・写真

小松忠正氏



「ホタルブクロ」
(キキョウ科)

美しい釣り鐘状の花をたくさんつける多年草で、ツリガネソウ、トックリバナなどともいわれます。茎は高さ三十〜八十センチメートルぐらいで、根生葉は柄のある卵心形、葉は長卵形で互生します。七月頃から茎の上部に白色の花を多数つけます。また山林沿いなどに見られる「ヤマホタルブクロ」は薄い紅紫色をしていて、がく片の間がふくらんでいて区別できます。和名は、この花の中に蜜を入れて遊んだからとか、ちようちんの昔の呼び名「火垂る袋」からなどの諸説があります。

広報クイズ

問・公民館で始まった図書検索システム。さて本はどこから町に来るのですか。

①国会図書館②県立図書館③秋田県庁
答えが分かった方ははがきに答え、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は十一月二十一日です。前回の解答は②四十五組でした。畠山明彦さん(大吹川)、小松田忠助さん(東京都北区)、佐々木優子さん(十文字町)、岡本侑子さん(秋田市)以上の方が正解しました。



戸籍の窓口

(9月21日〜10月20日届出)

●お誕生おめでとう

加藤 亜実さん(郁子)横渡

小松 実莉さん(淳)宇戸坂

横山 竣太くん(慶和)向田

佐藤 就輝くん(和広)蔵

●結婚おめでとう

阿部 高雄さん(岩館)

本田 二枝さん(北海道白老町)

●こめい福をお祈りいたします

佐藤 直也さん(81・阿部和弘・父)八日町

阿部サタミさん(79・弘・母)蔵

藤原 新一さん(87・キ・エ・夫)岩館

町の宝もの

第67回

前回の「水準点」をくわしくとの要望があったので補足します。写真は畑地内のもので、約三十センチの深さの所に、直径十二センチほどの真ちゅう製と思われる円盤状の表面に、次のように刻字されています。



水準点は状況の変化によって更新され、最新の設置は昭和六十年十月です。

なお、地図上で土地の高低や起伏を表わす標高の等しい地点を結んだ線が「等高線」で、五万分の一地図では二十メートルごとになっており、等高線は水準点と深くかかわっています。

文・畑山昭一氏



水準点

今月、この一枚



八塩小学校マラソン大会